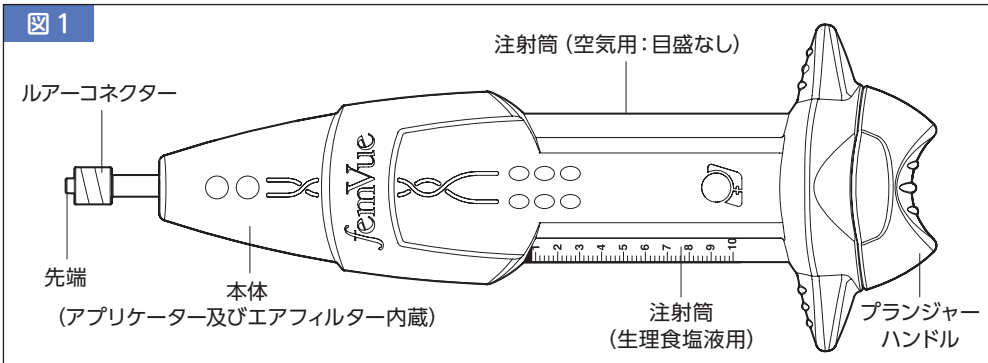
femVue™ フェムビュー™ 取扱説明書

使用にあたってのお願い

- 本品は生理食塩液および空気の混合液を調製する子宮用注入器です。超音波子宮卵管撮影以外の目的に使用しないでください。
- 本品は滅菌処理された状態で包装されており、包装に破損がある場合あるいは本品に損傷が認められる場合には使用しないでください。
- 本品は妊婦等、子宮卵管撮影が禁忌の女性には使用しないでください。
- 本品は1回（1症例）限りの使用ですので再使用や再滅菌は行わないでください。

1 形状・構造（図1）

図1



生理食塩液および空気の充填から注入までの操作を最低6回操作できる機器性能を有します。

2 使用方法

本品の先端を生理食塩液に浸してプランジャーハンドルを引くと、各々の注射筒に生理食塩液とエアフィルターを通った空気が取り込まれます。本品を造影用バルーンカテーテル（本品には含まれない）に接続し、プランジャーハンドルを押すと、アプリケーターを通して生理食塩液と空気が交互に押し出され、造影源（生理食塩液および空気の混合液）としてカテーテルより子宮腔内に注入されます。

3 本品の使用準備（図2）

1）注射筒への生理食塩液と空気の充填

① 生理食塩液を満たした容器に本品の先端を浸します。

② プランジャーハンドルを最後まで引き、生理食塩液を注射筒（生理食塩液用）に充填します。空気はエアフィルターを通して注射筒（空気用）に充填されます。

注意 • 生理食塩液はプランジャーハンドルの動きから遅れて注射筒に吸引されるので、プランジャーハンドルを最大限まで引いた後、数秒間は先端を生理食塩液の中に入れたままにしてください。

2）プライミング

生理食塩液を充填した本品の先端を生理食塩液に浸し、ゆっくりと気泡が見えるまでプランジャーハンドルを押し下げます。

注意 • プライミングはカテーテルに接続する直前に行ってください。

図2

4 超音波子宮卵管撮影の手順

1) 本品使用前の確認事項

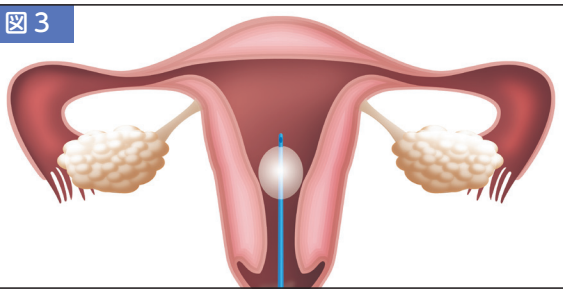
経腟プローブを挿入し、以下の事項を確認します。

- 子宮、卵巣の位置関係
- 腫瘍の有無
- ダグラス窩における腹水の有無、癒着の有無

2) 造影用バルーンカテーテルの挿入 (図3)

造影用バルーンカテーテルを子宮腔内に挿入し、カテーテルのバルーンを生理食塩液で膨らませて固定します。

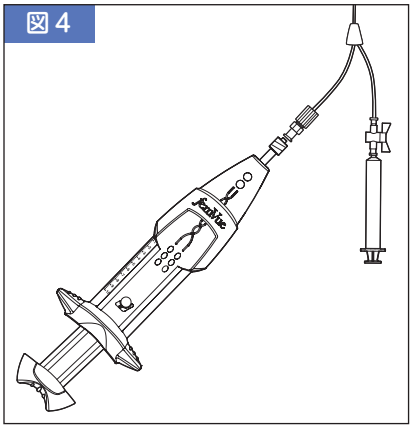
図3



3) 本品とカテーテルの接続 (図4)

プライミングを行った本品を造影用バルーンカテーテルに接続します。

図4



注意
- 使用前にルアーコネクターと使用する造影用バルーンカテーテルの適合性を確認してください。
- 接続する際には、カテーテルがよじれないよう、本品側を回してルアーコネクターをカテーテルに接続してください。また、接続部は締め過ぎないように注意してください。

4) 経腟プローブによる確認

経腟プローブを挿入し、再度子宮、卵巣の位置を確認します。

5) 造影源の注入

矢状断像で子宮内腔を観察しながら、ゆっくりとプランジャーハンドルを押し下げて造影源を注入します。

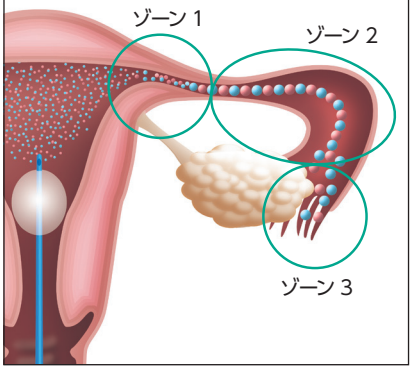
注意
- 注入に際しては、子宮頸部からの漏出に注意してください。また漏出が見られる場合には、バルーンの位置を調整してください。
- 空気塞栓のリスクを最小限に抑えるため、必要以上に造影源を投与しないでください。

6) 超音波による卵管の評価 (図5)

横断像を確認しながらプローブを操作して、左右どちらかの子宮卵管接合部に合わせます。ゾーン1における造影源の流れを観察した後、ゾーン2,3における造影源の流れをゆっくりと入念にスキャンします。

対側の卵管についても同様に観察を行います。

図5



注意 卵管の描出が十分でない場合は、以下をご参照ください。
- 子宮頸部での漏出がないかを確認してください。
- 経腟プローブの再配置を検討してください。
- 卵管攣縮がある場合は攣縮が解除されるまで待機してから検査を行ってください。
- 超音波装置設定の調整を検討してください。

〈参考〉生理食塩液と空気を用いた超音波検査による卵管疎通性の評価 (過去の報告からの所見)
・卵管の間質部分での流れ[1,2] ・卵管を通過する流れ[1] ・卵巣周囲又はダグラス窩で見られる気泡[1,2]

1) Volpi, Ultrasound Obstetrics Gynecology. 1996;7:43-48
2) Exacoustos, The Journal of the American Association of Gynecologic Laparoscopists. 2003;10(3):367-372

7) 検査終了後のカテーテル抜去

検査終了後は、本品側を回してルアーコネクターをカテーテルから取り外します。

プローブを抜き、バルーンを収縮させてカテーテルを抜去します。

5 本品の保管と廃棄

保管：高温多湿を避けて保管してください。

廃棄：使用後は医療廃棄物として処理してください。

※本製品の仕様および外観は予告なしに変更する場合がありますのでご了承ください。